

日本が世界の国々と仲良くして行くためには、他の国の人々が日本をどのように見ているかを知ることが大切です。今日はジャワハルラル・ネルーの『父が子に語る世界歴史』(大山聰 訳)をもとに勉強しましょう。

ネルー(1889～1964)はインドがイギリスの植民地であった時代にインド独立のために戦い、独立後、初代首相になりました。この本は1930年代のはじめに、刑務所の中から娘のインディラ(1917～1984 後のガンディー首相)に書いた手紙をまとめたものです。

次のA・Bの文章は日本についてのぬき書きで、表現が難しい所は直してあります。

問1～問7に答えなさい。